

火災に備えて避難器具

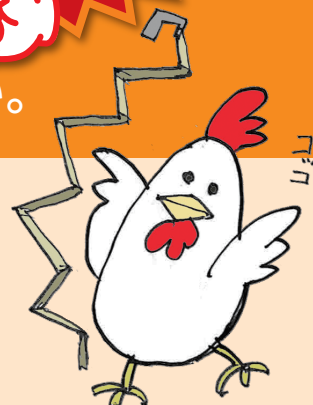
「火災だ」「階段が使えない」そんな時…… 避難器具は建物利用者の命綱！



- 設置場所はどこか知っているか。
- 避難器具の使い方や留意事項を確認しているか。
- 避難器具の周辺に避難の障害となる物件などはないか。



建物内にある避難器具の種類や設置場所、使用方法を確認しておきましょう。



避難器具

避難はしご
固定はしご
立てかけはしご
つり下げはしご

避難用タラップ 滑り棒 滑り台 救助袋
避難ロープ 避難橋 緩降機

避難器具は、建物用途・階数などの条件に基づき法令で設置基準が定められています。

ハッチ用避難はしごの使い方

※使用方法是製造会社により異なります。

避難器具には使用方法や留意事項が記載されています。必ず確認してから利用しましょう。

1

ロックを外し、
上ぶたを固定されるまで開ける。
階下に人がいないことを
十分に確認する。

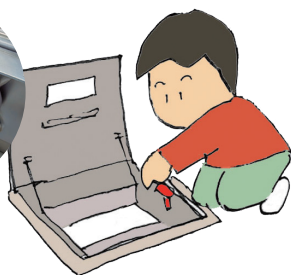


2

開放レバーを押すと
はしごが下りるので、
のびきったことを
確認する。

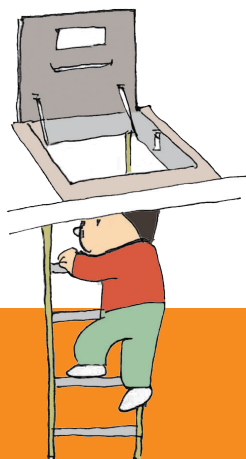


▲開放レバー



3

落ち着いて足の位置を
確認しながら降りる。



うまく避難できた

共同住宅の3階の居室から出火し、屋内廊下及び階段にも煙が充満して避難できず、3階からベランダに設置してあったハッチ用避難はしごで2階に降り、隔板を破って2階のつり下げはしごで避難した。7名の居住者が避難はしごで避難できた。

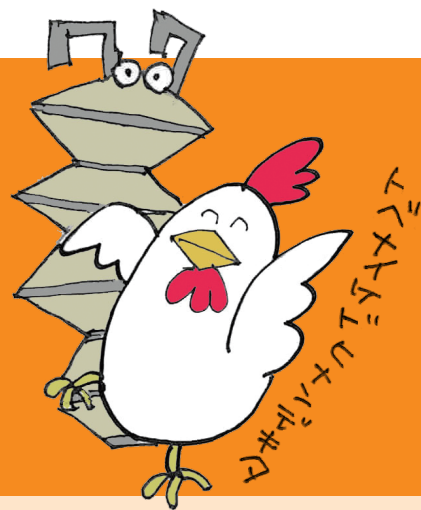
ホテルの厨房から出火し、20名が屋内階段で避難できたが、3階以上にいた3名は屋内階段を使えなかったため3階に設置してあった避難はしごで避難した。



ふたを開けると
使用方法が
記載されて
います。



写真協力：横浜市消防局「横浜市民防災センター」



消防用設備等点検報告義務

(消防法第17条の3の3)

点検およびその報告を怠った場合は、消防法に基づく命令や罰則の対象となります。

機器
点検

6か月ごと

総合
点検

1年ごと



一般財団法人
日本消防設備安全センター
違反是正支援センター

